



# スズキ労連は、1972年に結成し、 2022年9月に50周年を迎えました。

昭和47年9月17日、スズキ労連は、平和にして豊かな福祉社会の実現を進むべき道を定め、スズキグループ働く仲間の相互信頼と相互理解を礎に結成されました。当初は加盟組合6労働組合、約9,500名の組織でスタートしました。現在は、14労働組合30,638名(2022.5現在)の組織に成長しました。



## ～結成50周年に寄せて～ スズキ労連 会長 武藤 憲司

スズキ労連は今から50年前の1972年、昭和47年9月17日に第一回定期大会を開催し、①鈴木自動車、②平岡ボデー、③鈴木式織機、④スズキ輸送梱包、⑤鈴弥産業、現、ベルソニカ、⑥吉元鉄工所(現、スズキ精密)の6組合9,500人の組織でスズキ関連労働組合連合会は誕生しました。

スズキ労連の各加盟組合が、それぞれの力を結集し、「新しい力を生み出し、希望に満ちた未来を築くために、スズキグループの連携強化」を目指し、その第一歩を踏み出しました。

この結成大会では、スズキ労連は、平和にして豊かな福祉社会の実現が我々の進むべき道、として定め、「自動車総連と労連の連帯を高め、生きがいのある暮らしを実現しよう」というスローガンとともに、「綱領」と「行動要領」を満場一致で採択しました。

スズキ労連結成当時の国内情勢は、昭和45年後半から46年と続いた不況は、政府、日銀の再三に亘る景気刺激策が功を奏し、回復過程にありました。しかし、田中内閣が昭和47年7月に「日本列島改造論」を中心政策として発足、以後物価は異常に高騰し続け、インフレ時代の幕開けとなりました。この異常なまでに高騰する物価高の中で戦うことになったスズキ労連結成後、初の1973年春闘は、今までにない組織体制と統一行動から、盛り上りの戦いでありました(戦いであったと記録されています)。

また、結成初期の高度経済成長時代は、オイルショックによりその終焉を迎え、自動車産業も、資本の自由化や、発展途上国での自動車産業政策が進展し、従来のノックダウン輸出の内容に変化が生じ始めました。自国産業の育成を目的として、多くの国が国産化規制を実施し、あるいは強化し始め、国外でのノックダウン生産、海外への資本進出の傾向が強まりました。また、排ガスによる大気汚染問題も深刻化し、対策車の開発が急務になっていきました。

このように先行き不透明、不確実性の時代の中、幾多の困難を乗り越え時代は進んでまいりました。

現在、私たちを取り巻く環境は、これまで経験したことのないスピードとスケールで変化しています。

21世紀に入り、100年に一度と言われる危機が日本を、また世界を襲いました。2008年9月、リーマンショック、その回復過程にあった2011年3月11日、東日本大震災と、巨大津波による被害と原発事故は、甚大な被害をもたらしました。そして新型コロナウイルスです。

半導体不足と新型コロナウイルスとの戦いが、これほど長く続くことになるとは想像もしていなかったと思います。激変する産業構造や経済情勢、雇用情勢の中で、それぞれの企業や職場では、危機を脱するためにさまざまな施策を展開してまいりました。いままで当たり前だったことが当たり前でなくなり、特別だったことが日常となりつつある社会となり、デジタル化や、リモートワークは急速に進み、働き方も多くの選択肢が生まれ、職場環境も多様化する中で、引き続き私たち労働組合は、雇用と生活を守るため、取り組みを進めていかなければなりません。

スズキ労連の初代会長が労連記念史に残しているメッセージを紹介いたします。

「企業は利益を追求して成長し、労働者は、健康と平和な暮らしを求めて団結する」

その思いは今も何ら変わることはございません。

50年という歳月が経過し、私たち労働組合が存在する意義や価値を改めて問い直してみたいと思います。

健康と平和な暮らし、労働者を守るための仕組みは、自動的に機能するわけではなく、そこには労働組合が大きな役割を果たしてきました。私たち組合員は、世の中の仕組み、会社の仕組みに無関心のままでは求める暮らしは実現しません。

自分たちで課題を解決していこうという主体性をもって機能していかなければならないと思うのです。変化の激しい時代の今こそ、労働組合の意義が多くの人に理解されるはず です。

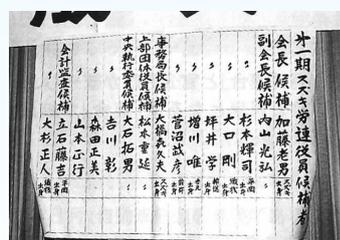
結びに、私たちスズキグループの強みは、常にチャレンジ精神を持ちながら課題や施策をやり抜く、まじめさとひたむきさにあると自負しております。

スズキ労連30,000人の力を結集し、手と手を携えて次の10年、20年と続いていけるよう私たち労働組合はこれからも努力してまいります。

スズキ労連組合員皆様をはじめ、関係各位の今後とも変わらぬご支援とご指導をお願い申し上げます。



結成大会の様子



第1期スズキ労連役員

# スズキ労連 賃金セミナー開催



SUN会館会場の様子



WEB参加者の様子



日本生産性本部 村上講師

## 労使交渉に必要な知識を学ぶ

2022年11月25日(金)～26日(土)の2日間、スズキ労連51期賃金研修会(基礎編)を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてSUN会館とWEB併用での開催とした今回のセミナーは、講師に公益財団法人日本生産性本部 村上和成様を迎え、加盟組合の組合役員37名(男性32名、女性5名)に参加頂きました。

講義では、人事賃金制度の構造や、自社賃金の分析・診断方法、基本給ピッチの計算方法、賃金改定の交渉と実施方法など基礎的な内容を学びました。

受講者アンケートでは、総合生活改善の取り組みに向けてこれからどのような活動を進めて交渉に臨めばよいか学ぶことが出来たという意見が多くありました。

スズキ労連は、今後も組合役員のサポートとなるようニーズに併せたセミナーを提案してまいります。

### セミナーでの感染防止策

- WEB併用開催
- 座席、出入口の制限
- 休憩中の室内換気
- アルコール消毒
- マスクの着用
- 入室時の検温

# スズキ労連 年末の交通安全運動

冬是一年で最も交通事故が多くなる季節です。正しい交通マナーを実践、交通事故を防止し、楽しい年末年始を迎えましょう！

- シートベルトを着用しましょう
- 飲酒運転は絶対にしない
- 早めのライト点灯を
- 自転車も交通ルールを守りましょう



どんなことでもOK!  
お気軽にご相談下さい。



仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…  
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。



こんな時にはお電話を!

0120-500-073

\*月～金 9:00～18:00

相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20  
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838  
e-mail : masatos@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇  
<http://saw.gogo.tc/>  
\*スズキ労連の福利厚生・  
スズキ労連機関紙  
共通パスワード… saw2007



### 【編集後記】

今年もあっという間の1年間でした。新型コロナウイルスに気をつけながら年末年始は久しぶりに県外の両親に会いに行こうかと思っています。自家用車で行くつもりなので、安全運転を心掛けます。ネットで見つけた「渋滞を減らす」運転方法があったので、実践してみたいと思います。 スズびん